

# Hiroin IDと国際相互無線LAN接続サービスの運用について



弘前大学  
総合情報処理センター  
佐藤 友 暁

## 弘前大学にける国際相互無線LAN接続サービス運用開始

- eduroamによる国内外の大学等との無線LAN相互接続サービスの開始
  - 弘前大学の構成員はeduroamを提供している大学等の無線LANに接続できる
  - eduroamに加盟している大学の構成員は弘前大学の無線LANに接続できる
- eduroamへの接続にはHiroin IDが必要
- Hiroin IDの取り扱い
  - 弘前大学内でのIDから国際IDへ
    - 厳密なIDの運用が求められる
    - セキュリティ対策 (パスワードの管理)

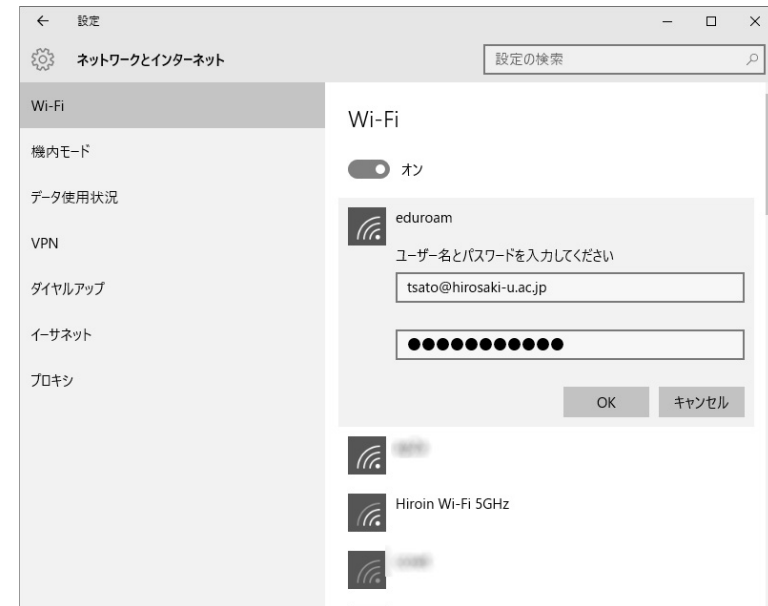
# eduroamとは

- 世界規模の学術無線LANローミングサービス
  - 国内132機関、世界約75か国(地域)が参加
    - 学術機関以外の例として銀座ルノアール
    - タイ・コンケン大学 (弘前大学コンケン事務所)
- Hiroin IDとパスワードを使用してeduroamを使用することができる
  - 弘前大学でサービスしているeduroamに接続可能
- <http://www.eduroam.jp/>



## 使用方法 (Windows 10の例)

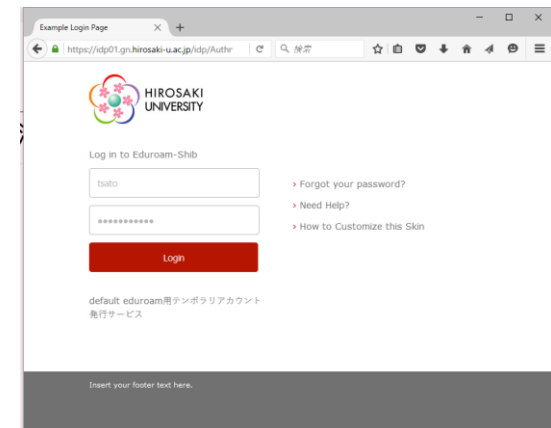
- Hiroin IDとHiroin IDで入力しているパスワードを入力
  - 一度設定すると自動的にeduroamに接続する
  - セキュリティ的な観点では、若干リスクがある
    - パスワードが漏洩した場合、メール等の流出につながる
  - 対処方法
    - 仮名アカウントの利用
    - Hiroin IDを直接入力してeduroamを使用した場合は、パスワードを変更すると安全



# eduroam仮名アカウント発行システム

- eduroam仮名アカウントを利用する
  - 国立情報学研究所でサービスしている「学認」を使用したシステム
    - Hiroin IDを利用して仮名アカウントを発行する
  - 仮名アカウントはeduroamへの接続にのみ使用できる

<https://eduroamshib.nii.ac.jp/>



# Hiroin IDと学認

- 学認サービスに加入したことで、厳密なID発行が要求される。
  - これまでのHiroin IDは弘前大学内での利用であったため、弘前大学内でアカウント発行ポリシーを決めることができた
  - 利用者の範囲は、原則として、教職員（名誉教授を含む）および学生
  - ID 利用者の同一性の保証
  - 利用者ID の再利用条件
    - 最終の利用時から最低24 ヶ月間は再利用すべきではない
  - 学認技術運用基準 (v2.1)
    - [https://www.gakunin.jp/?action=pages\\_view\\_main&active\\_action=repository\\_view\\_main\\_item\\_detail&item\\_id=216&item\\_no=1&page\\_id=85&block\\_id=227](https://www.gakunin.jp/?action=pages_view_main&active_action=repository_view_main_item_detail&item_id=216&item_no=1&page_id=85&block_id=227)

## まとめ

- 弘前大学におけるeduroamの運用開始
  - 弘前大学の構成員は国内外でサービスを行っているeduroamを経由してインターネットに接続することが可能
  - eduroamに加盟している大学等の構成員は弘前大学の無線LANを経由してインターネットに接続することが可能
- Hiroin ID
  - eduroamを使用する際に使用
    - セキュリティの観点から仮名アカウントの利用を推奨
  - 弘前大学内のIDから国際的なIDに